

○7番（渡邊 昇君） 皆さん、おはようございます。傍聴の皆さん、何かと大変お忙しい中、議会傍聴にお越しいただきまして大変ありがとうございます。また、本日は暑い、ちょっと猛暑、残暑が残っている暑い中ですが、また農家におかれましては稲刈りの真っ最中、野菜農家におきましては植えつけの最中と何かとお忙しい中、大変ご苦労さまでございます。

議席7番の渡邊昇です。議長の発言の許可をいただきましたので、通告に従って、まず1項目として、2020年の教育改革について、①として、新学習指導要領の取り組みについてをお伺いしたい。

②として、学習内容及び年間の祝日等がふえている中で、今後十分な授業時間が確保できるかをお伺いしたい。

以上、1項目、2点について一般質問させていただきますので、答弁のほうをよろしくお願ひします。

○議長（倉持 功君） ただいまの2020年教育改革についての質問に対する答弁を求めます。教育長。

〔教育長 忍田暢男君登壇〕

○教育長（忍田暢男君） 皆様、改めましておはようございます。渡邊議員の1項目め、2020年教育改革についての1点目、新学習指導要領の取り組みについてのご質問にお答えいたします。

来年4月から実施されます教育改革では、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、子供たちがみずから学び、コミュニケーションをとりながら学習を深める内容となっております。主なものといたしましては、小学校において外国語教育とプログラミング教育が導入されるものでございます。3、4年生では週1時間の英語の授業を追加し、5、6年生では週1時間から週2時間に拡大をされます。特に5、6年生は、外国語として教科化されます。また、プログラミング教育は、各教科の中で進められ、例えば算数の正多角形をプログラムするなど、論理的思考力を育成するため導入されるものでございます。

本町では、先行いたしまして英語教育を導入しておりますので、引き続きこの新学習指導要領に沿った3つの事業を子供たちのために進めてまいります。1つ目といたしましては、グローバル社会に対応できる英語教育でございます。今回の改革では、英語の教科化により担任による本格的な授業が開始されます。境町では現在、フィリピン人英語講師を小中学校に複数配置して、授業だけではなく、日常から英語に親しむ環境を整え、町テキストによる英語活動を行っていることから、スムーズに移行できるものと考えております。また、担任の英語のスキルアップを目指しまして、研修会等も実施しており、現場の先生方からも不安が自信に変わったという声も聞いております。

2つ目といたしましては、主体的な学びを育成するリーダーシップ教育「リーダー・イン・ミー」でございます。平成28年度より、7つの習慣を学ぶプログラムを町内全小学校で導入しております。新学習指導要領で重視されております主体的・対話的な学びのため、将来の

夢について今すべきことは何かなどの話し合い活動の中で、一人一人がリーダーという気持ちが育ち、子供たちが主体的に行動する力がついてきているとの報告を受けております。

3つ目といたしましては、プログラミング教育のための環境整備でございます。境町では、パソコンやタブレットの整備を通してプログラミング教育を支援しております。まず、児童が授業で活用できるタブレットを各校に40台整備しております。タブレットを活用して、自分のつくったロボットが思いどおりに動くようプログラミング等を行い、論理的な思考力を高めてまいります。また、子供たちのパソコン操作等をサポートするため、支援員の学校への巡回配置も実施しております。さらに、境町では、これらに先駆けて、平成27年度から小学生を対象に、プログラミングを楽しく体験しながら学ぶ「キッズフューチャーキャンプ」を実施しており、学校外でも子供たちが論理的に考える力を身につけられるようにしております。

今後とも次年度の教育改革に向けまして、各種教育活動に取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

次に、2点目、学習内容及び年間の祝日等がふえる中で、今後十分な授業時間が確保できるのか、お伺いしたいとのご質問にお答えいたします。小中学校における授業時数につきましては、学習指導要領及び学校教育法施行規則に基づき、各学年における年間の授業時数が示されております。例えば小学校6年生では、新学習指導要領が示す標準授業時数が1,015時間とされておりますが、町内の各学校では、ゴールデンウィークの10連休がありました今年度におきましても、1,140時間程度の授業時数を計画しておりますことから、授業時数は十分確保されていると考えております。また、そのほかの学年におきましても、新学習指導要領が示す標準授業時数を上回る計画となっておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 確認的なお聞きをしようと思うのですが、3年生以上から英語ですか、入るわけですが、これは担任が主体と言っていますが、もう一人の先生もつくということでは3年生以上、5、6年生もそういうことですか。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

○教育次長（小関幸枝君） 先ほどのご質問にお答えいたします。

5、6年生につきましても、外国語活動の部分では、フィリピンのALTの方に一緒に協力していただきながら授業を実施していくということになっております。

以上です。

○議長（倉持 功君） ただいまの答弁に対し、質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） ちょっと一緒に聞けばよかったのですが、学校によっては生徒数が

少ない、違いがありますが、その辺は1学校で何名とか、何クラス以上あったら先生が何名とかと、そういうのですか。ちょっとお聞きしたいのですけれども。

○議長（倉持 功君） ただいまの質問に対する答弁を求めます。

教育次長。

○教育次長（小関幸枝君） ただいまの質問にお答えいたします。

今、静小学校では2名、それから境小学校では4名ということで、やはり児童数に応じたALTの先生をお願いしております。

以上です。

○議長（倉持 功君） 答弁に対し、質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） そうすると、お話聞きましたら1週間が、6年生の場合は6時間授業というふうなお話に聞いておりましたので6時間ですね。その6時間やっていて、今移行期間で英語を勉強している中で、週2時間ですか、2時間ふえるということですが、ふえた中で、これは5、6年生は教科ということですから、もちろん成績等もつく。また、3、4年生はどんなふうな採点というか、あれをするのですか。ちょっとその辺をお聞きしたいのですけれども。

○議長（倉持 功君） 教育次長。

○教育次長（小関幸枝君） ただいまの質問にお答えいたします。

授業時数につきましては、先ほど答弁にもありましたように、5、6年生1,015時間ということで、35時間、現在のところ、今までの指導要領よりはふえるのですけれども、本町におきましては特別教育課程ということで……本町では特別な英語活動ということで、特別な教育活動ということで、総合的な学習の時間の中から英語活動を実施しておりますので、現在でも2時間実施しておりますので、6時間授業ということで実施しております。

〔「6時間」と言う者あり〕

○教育次長（小関幸枝君） はい。6時間授業で、1時間ふえるので、もしかしたら7時間授業になるのではないかというご質問ではないかなと思うのですが、そういったことではなく6時間で大丈夫だということです。現在も特別な教育課程ということで、境町ではもう英語の授業を先行して先取りして実施していますので、特に新指導要領になったからということで、また1時間ふえるということではなく、もう先行して実施しております。なので、時数がふえて、また1時間ぶら下がって7時間になるということはありません。ただし、総合的な学習の時間の中から英語の授業を実施しておりましたので、総合的な学習の時間の70時間、週2時間というところの1時間は英語活動に実施しているということです。

○議長（倉持 功君） 補足で、町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは、渡邊議員さんのご質問ですけれども、多分渡邊さんがおっしゃったのは、週にずっと毎日やっているのではないですかという話ですよね。ご説明をしたときには、毎日45分間、英語に親しむ時間をつくるということではなかったかと。そ

して、それで当初始まったのですけれども、なかなか時間がつくれないということで、大体とれているのが週に2時間ぐらい。そのほかの時間は、朝のホームルームの時間に英語のビデオを見たりとか、お昼の間に英語の音楽を流したりとか、そういったことで補完をしているという話で今まで話をさせていただきました。

なお、その1日45分とれなくても、実際に英検を受けていただいた結果で、非常に効果が出ているので、このままいけば小学校6年生卒業時に英検3級は取れるだろうという見込みで今までやってきたというのが境町の先行型の英語の教育でございます。ですので、今まで、先ほど次長が説明したとおり、総合学習の時間の1時間を英語に使っていたのですけれども、今度は国として時間をとりなさいということですので、逆に1時間とりやすくなって、英語が学べるようになるのではないかなというふうに我々は思っているのですが、逆に今までこの時間の中で無理やり英語の時間をとっていたわけです。何とかして。それが、この時間はもう英語に割いていいですよということになるので、非常に学校のほうとしても楽にカリキュラムが組めるのかなというのと、もう一つはALTがいることで、本当ならば、ほかの学校は全部英語の先生を入れて、英語の学習をしなくてはならないわけです。どういうふうに教えようとか、そういうのを悩んでいるわけです。だけれども、我々のほうはもうALTの先生が入っています。そして、ALTの先生たちが日本人の英語の先生にも教え方を今指導しているということで、非常に不安から安心に変わったということを知っておりますので、非常にいい方向に行くのではないかなというふうには思っています。ただ、非常に成果は出てきていますので、しっかり境町としてはやっていきたいなという事業でありますけれども、いろいろ課題があれば検討しながらやっていきたいというのが町の思いでありますので、よろしくお願ひしたいというふうには思っています。

ということで、実際に、簡単に言うと、質問の1つ目、2つ目について、町としては基本的には問題なく、逆にほかの学校から、ほかの先生たちから、境町どうやっているのと聞かれるような、そういう立場にあるということをお答えさせていただきまして、回答とさせていただきますというふうに思います。

○議長（倉持 功君） 答弁に対し、質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） 移行期間で英語をやっているというお話の中で、来年は本格的な外国語学習となった場合、これは全てもうその時間は英語で授業をするのですか。

○議長（倉持 功君） 教育次長。

○教育次長（小関幸枝君） 今の質問にお答え申し上げます。

全てというのは、その1時間の中でということでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○教育次長（小関幸枝君） でしたら、1時間英語のみでなるべく、そういう形で進めております。先日、イングリッシュサマーキャンプという事業をさしま少年自然の家で実施したのですけれども、2泊3日、児童はなるべく、ほとんど英語で過ごすようにということで、

A L Tの先生のご指導のもと2泊3日過ごしたところでございます。

○議長（倉持 功君） 町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは，補足をさせていただきますけれども，多分ご質問と答弁がかみ合わないのは，根本が違うのですね。要は5，6年生から始まるからとか，3，4年生から始まるから先行してという意味ではなくて，境町はもう全国に先駆けて，全国のモデルとなる授業をしているのです。要は小学校1年生から6年生まで，そしてその6年生の中で英検3級なんて，そんな目標を掲げているところはないのです。中学校3年生で英検2級，こんな目標を掲げているところはないのです。なので，逆に僕らが心配しているのは，授業が遅過ぎて，英語の授業が遅過ぎて，我々の子供たちは先に行ってしまうので，例えば中学校1年生の勉強をしているのに，要はA，B，Cみたいなことをやるなんていう，そういうことが逆に心配であって，我々はやっぱりもうその先へ行っているものですから，そこが多分答弁と質問がかみ合わないのではないのかなと。もう小学校2年生で中学校1年生の修了時の合格をしている子がいるわけですよ，境町は。もう小学校3年生で中学校2年生の修了時の英検4級受かっている子がいるわけです。それがもう今どんどんふえていきますから，もう全く違うことをやっていて，もうどんどん先に境町の子たちは行っているという感覚を持っていただかないとまらないのではないかなと。

普通の子たちが，例えば我々のころもそうですけれども，中学校1年生から3年生でしゃべれるかといったらしゃべれないわけです。今の境町でやっている子たちの授業は，しゃべれますから。1年生から6年生までやると，しゃべれるようなプログラムをやっているのです。なので，国が言っている英語に親しみましようの先を行っているのです。我々はもう英語をしゃべれるようにしましよう。そして，外国にグローバルな社会で通用する人材をつくりましようということをやっているので，それをわざわざ国のほうに合わせて落とす必要はないので，先頭を走っているという感覚を持っていただいて，子供たちがすごいですね，今。例えば「さようなら」と言うときに「See you」なんて言うわけですよ，小学校1年生が。そんなこと考えられないわけですよ。そういうことを子供たちがやっていることをやはり理解をしていただいたほうが，よりよいご質問になるのかなというふうには思っていますので，よろしくお願いをしたいと思います。

○議長（倉持 功君） 答弁に対し，質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） ①と②を一緒に答弁していただいた中で，2点目のことにちょっと触りたいのですが，祝日等がだんだん少しずつふえていく中で，そうすると振りかえ休日になって月曜日が休みになるところが多くなってきた。そして，これはどこの地域，どこの場所でも同じですが，自然災害も大分ふえてきた。そういう中で，年に一，二回の台風のために学校が休みになるぐらいは前からあったことで何とも思いませんが，今後雪が大雪が降るわけでもないですから，そういうことはないと思うのですが，ただ冬になるといつでもインフルエンザで学級閉鎖とかクラス閉鎖とかというのはお聞きします。そういう中で，しっ

かり勉強していくために授業日数が満身に、十分にできるのかというのが第2点に入っているのですが、その辺についてはどんなふうな考えをお持ちでしょうか。

○議長（倉持 功君） 町長，橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） それでは，渡邊議員さんのご質問にお答えします。

先ほども言ったように、平均授業時間と我々のやっている授業時間では100時間以上、125時間かな、多くつくってあるのです。ですので、125時間ですから、1日6時間で120を割ると20日間ですよ。20日分余計にやっているのです。それで大丈夫だということは、20日間休んでも大丈夫だということです。ですので、そういうカリキュラムを組んでいるものから心配ないですよという話をしているのです。多分テレビで見て、水戸市が、では28日から学校始まったとか、そういうのを見るから、ああ、もっと早く始まったほうがいいのではないかと多分思ったのかもしれないですけども、数字で見て20日間も余計に我々はカリキュラムを組んで勉強しているということは、全く問題ないということが言えるのではないのかなというふうに思っていますので、これが逆に、先ほどの、例えば115時間ぎりぎり、120時間ぐらいしか組んでいなくて、それで5日休んでしまったら、5日間どうしようということにはなると思うのですけれども、今回皆さんにご理解いただいて、校務支援システムを7,800万かけて入れました。これによって先生たちの働き方も、今まで全部手でやっていたものを全部今度は入力で済むと。成績をつけたりとか、子供たちの出欠とか、自分たちの出退勤まで全てパソコンで済むというように変えさせていただきましたので、時間ももっとできるようになりますので、非常にその辺は心配をしていないですし、もう一つ言えば、我々は土曜塾とか、いろんなことをやらせていただいています。ですので、今教育長にお願いしているのは、とにかく境町の学力を上げてくれという話を我々はしているわけです。なので、逆にそこで足りなくなればすぐ言うてくるはずなので、何回聞いても大丈夫です、境町はということをおっしゃっておりますので、ご心配しないで大丈夫なのかなというふうには思っています。

そして、先ほどの1点目でありますけれども、この間、先ほど話聞いたのですけれども、この境町の授業が非常にあちらこちらでいろいろ言われておりまして、水戸のほうの親子がぜひその境町の英語教育、興味があるので、移住をしたいと。移住するのに当たってやはりちょっと授業を見てみたいと、そういうような問い合わせも来ているということでは聞いておりますし、学校の先生方が、ほかの学校の先生方が小学校に上がるタイミングでぜひ境町の英語教育がいいということなので、引っ越したいというような話も来ているところなので、もう少し長い目で見ていただいて、まだ始まって1年の事業でありますので、3年ぐらい見ていただいて、どのぐらいの実績が出てくるか、そういったこともしっかり見ていただければ、ほかの教育とは全く違うことをやっているというのがわかってくると思いますので、よろしくお願いをしたいなというふうには思います。

○議長（倉持 功君） 答弁に対し、質問はございますか。

渡邊昇君。

○7番（渡邊 昇君） よくわかりました。全ての子供たちが学力向上になりますようお願い申し上げます、そして町長に対しては、ちょっとお言葉を返すような言葉なのですが、やはり日本人でありますので、日本語もしっかり話せるような子供になってほしいというのを付け加えてお願い申し上げます、終わりにします。

○議長（倉持 功君） これで渡邊昇君の一般質問を終わります。